

図書館だより

開館時間(共通) 9時～17時30分
 中央図書館 ☎ 0558-76-5566
 葦山図書館 ☎ 055-949-8605



▲図書館 HP

今月のおすすめ

一般

【葦山】

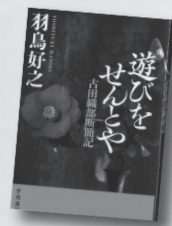


観覧車 一赤川次郎
 ショートショート王国—
 赤川次郎／著
 光文社

ファンクラブ会員から募集したタイトルに書き下ろした27の超短編。ウィットと少しの毒と奇想天外。ちょっとふしぎな「赤川ワールド」へようこそ。

一般

【中央】



遊びをせんとや
 古田織部断簡記—
 羽鳥好之／著
 早川書房

慶長20年、徳川家康の命により古田織部が切腹。その18年後、織部が最後に催した茶会の指示書が見つかる。天下茶匠織部が天下人家康と闘った深遠な理由とは？

一般

【中央】



おでんオデッセイ
 山本幸久／著
 実業之日本社

東京の商社を退職して伊竹市にUターンした静香33歳。伊竹銀座商店街の一角でおでんの屋台を営む。経営は常にギリギリだが、こよいも変わり種な客がやってくる。

児童

【葦山】



ステーキ
 12のおいしいきのはなし—
 はらぺこめがね／作
 小学館

「き」に注目。ふとまき、ひなまつり、オムレツ、たいやき、かき、うなぎなど。1月から12月のおいしい「き」。この著者の描く食べ物には本当においしい。

新着本コーナーから

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 一般 ツミデミック | 一穂ミチ／著【葦山】 |
| 一般 月ぞ流るる | 澤田瞳子／著【中央】 |
| 一般 平家物語 | 林真理子／著【葦山】 |
| 一般 シニカケ日記 | 花房観音／著【中央】 |
| 一般 ほっこりみんなの育児ワザ大全 | 原あいみ／作【中央】 |
| 一般 発見！ほとけさまのかたち | 奈良国立博物館／監修【葦山】 |
| 児童 大ピンチずかん2 | 鈴木のりたけ／作【中央・葦山】 |

2月の図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29		

○ 中央休館日 □ 葦山休館日
 ◇ 両館休館日 ☆ おはなし会

2月のおはなし会

中央図書館 10日(土) 11時～
 葦山図書館 24日(土) 11時～
 くぬぎ会館子ども広場
 15日(木) 10時10分～
 ※事前申込不要

お知らせ

大仁中学校美術部作品を展示中

中央図書館カウンター後ろのガラスに作品を展示しています。現在の作品は、3月末まで展示予定です。



文化財通信

その224

変わりゆくもの・変わらないもの

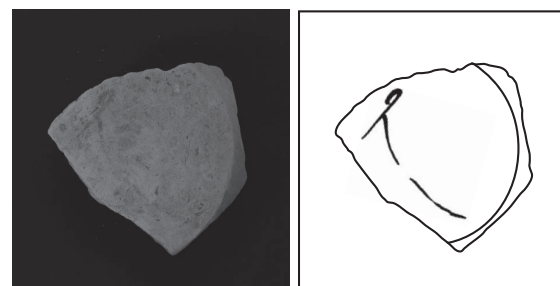
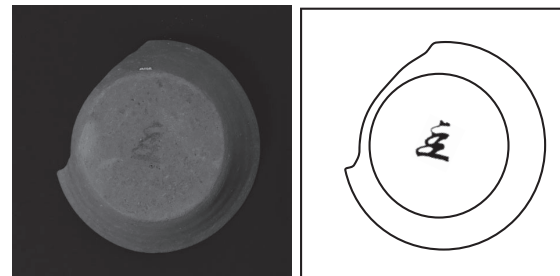
—「うつわ」に文字・記号を書くということ—
 ぼくしよどき
 —墨書土器—

文化財課 ☎ 055-948-1428

遺跡を発掘すると、昔の人たちが使った土器が出土します。奈良時代以降の土器には、まれに文字や記号などが書かれたものがあります。先端の鋭い工具を用いて、文字や記号などを刻んだ「刻書土器」、墨・筆を用いた「墨書土器」です。また土器に絵を描いたものを「墨画土器」と呼ぶこともあります。では昔の人たちは、どうして墨で土器に文字などを書いたのでしょうか。

いくつか理由が考えられますが、まず土器を使う人や、土器の所属や使用目的・内容物を示すためと考えられます。他者の使用防止や、備品として管理するためだったのでしょう。人名や役職、土器の管理組織・建物名などが書かれています。

二つ目の理由として、宗教的な祭儀・まじないのためと考えられます。「吉祥句(縁起の良い言葉)」や、厄除けの印と思われる記号が書かれたものがそれです。出土例は少ないのですが、疫病神と思われるひげ面の人物の顔が描かれた土器もあります。現在、私たちの生活の中では、「うつわ」に字を書く機会はないのでは



▲坂本遺跡で発見された墨書土器
 上:「主」のような文字 下:「久」のような文字

前回の土器にもかわかわらず、筆の運びを観察することができました。「久」と書かれた土器は底部のみの破片です。「久」の三画目は、異常に長い払いとなっています。うっかり筆がすべってしまったのか、それともわざとなのかは分かりません。両者ともまじない用に使われたものと考えられます。

こうした墨書土器は、使用した人々のさまざまなニーズを反映したものです。その前提として字を書く人・理解する人の存在が欠かせません。墨書土器が出土する遺跡は、文字を読み書きできる人がいる、地域の中核的な集落であったと考えられます。墨書土器は奈良平安時代の伊豆国田方郡の様子をうかがい知る上で、貴重な資料と言えるでしょう。